

令和4年度第2回盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

日 時 令和5年2月17日（金）
14時00分～15時30分
場 所 808会議室

- 1 開 会
- 2 議 事
 - (1) 令和2年国勢調査結果を踏まえた盛岡市人口ビジョンの更新について
 - (2) 第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
- 3 その他
- 4 閉 会

- 資料
- 1 次第・説明資料
 - 2 盛岡市人口ビジョン（令和5年3月更新）（案）
 - 3 第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和5年3月改訂）（案）
 - 4 参考資料

盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略
推進会議委員名簿

	氏 名	所属・役職等	備 考
1	川上 冴華	川上塗装工業 専務取締役	欠席
2	菊地 類	(株)V-CUVE VCP事業推進室 室長	出席
3	小苺米 希実	農事組合法人となん	出席
4	佐々木 健二	盛岡市肴町商店街振興組合 理事長	出席
5	佐々木 祐子	盛岡商工会議所 女性会会長	出席
6	佐藤 淑恵	公募委員	出席
7	鈴木 拓	岩手県北自動車(株) 副社長	出席
8	田村 優子	公益財団法人さんりく基金	出席
9	中村 好子	(株)IBC岩手放送 メディア編成局ラジオ放送部長	出席
10	新田 義修	岩手県立大学 研究・地域連携本部副本部長	出席
11	藤原 学	(株)岩手銀行 執行役員 本店営業部長	出席
12	廣田 淳	元岩手県地域連携参与	出席
13	水野 節郎	(株)ERi 代表取締役	欠席
14	村上 貴亮	川徳労働組合 執行委員長	欠席
15	渡部 あさみ	岩手大学 人文社会学部 准教授	出席

目次

1. 第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について	…P4
① 本市におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ	…P5
② まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像について【令和2年度から令和6年度まで】	…P6
③ まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進体制について	…P7
2. 令和2年国勢調査結果を踏まえた盛岡市人口ビジョンの更新について	…P8
① 人口ビジョンの更新の趣旨について	…P9
② 人口ビジョン更新の主な内容について	…P10
③ 盛岡市人口ビジョンの更新に伴う主な項目の推移	…P13
④ 人口ビジョンの更新を踏まえた今後の人口対策の方向性について	…P14
3. 第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について	…P15
① まち・ひと・しごと創生総合戦略とデジタル田園都市国家構想総合戦略との関係性について	…P16
a. デジタル田園都市国家構想総合戦略の全体像	…P17
b. デジタル田園都市国家構想総合戦略とは	…P18
c. 第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略とデジタル田園都市国家構想総合戦略の内容の比較	…P20
d. まち・ひと・しごと創生総合戦略とデジタル田園都市国家構想総合戦略との関係性について	…P21
② 第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について	…P23
a. まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂の趣旨について	…P24
b. まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂の主な内容について	…P25

本日の協議のポイント

1. 令和２年国勢調査結果を踏まえた盛岡市人口ビジョンの更新結果について

令和２年国勢調査等の最新統計結果を踏まえての本市の人口動態について意見を賜りたいと存じます。

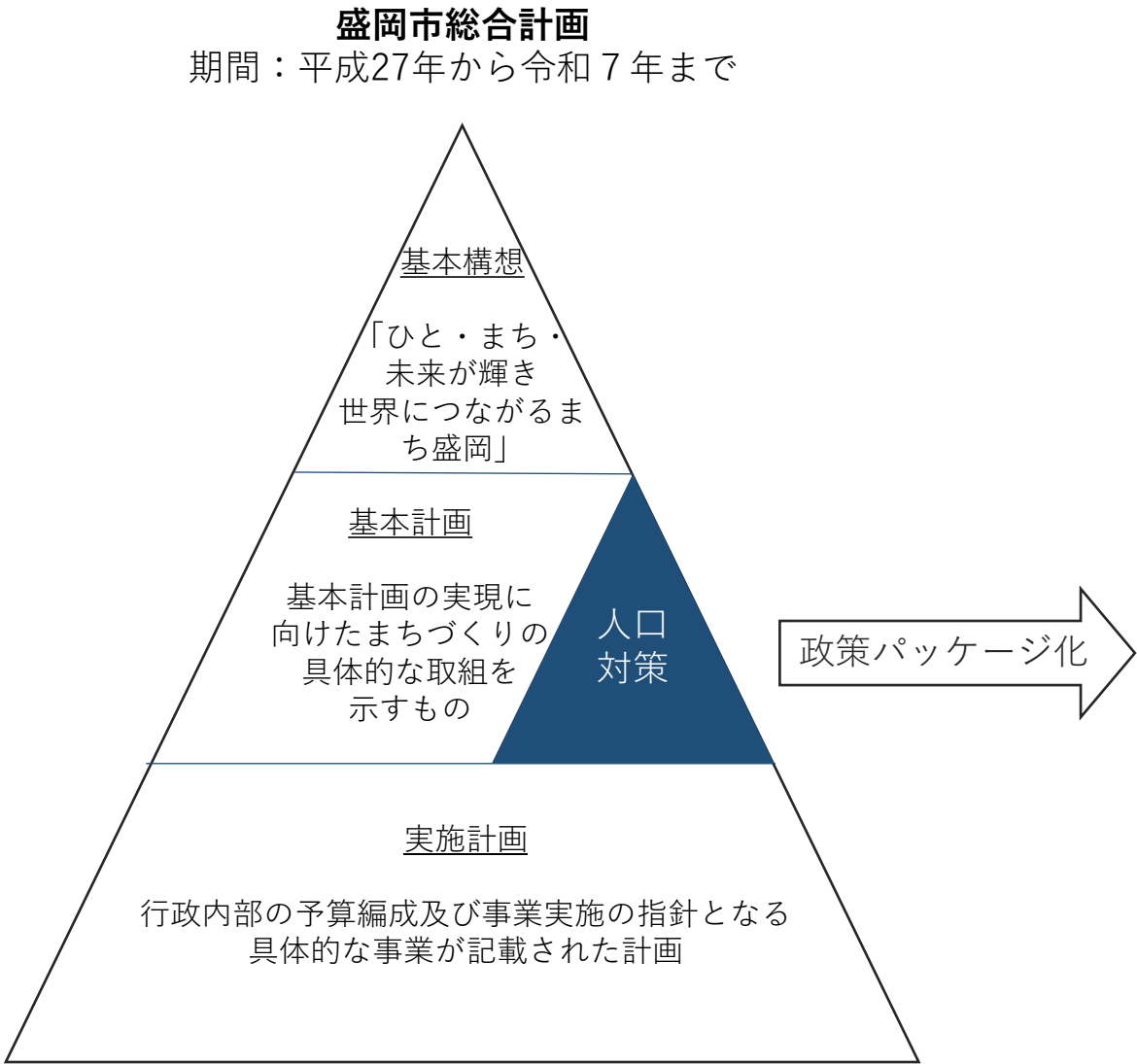
2. 第２期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

今回の加除・修正を踏まえて各事業に取り組んでいくに当たり、事業推進の視点等について助言を賜りたいと存じます。

1. 第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について

本市におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

- 本市の最上位計画である盛岡市総合計画のうち、地方創生・人口減少克服を目的とした政策パッケージがまち・ひと・しごと創生総合戦略です。
- 平成27年度から第1期が始動し、令和2年度より令和6年度末までを計画期間とした第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略に取り組んでおります。



第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略
期間：令和2年度から令和6年度

基本方針	
「若者をひきつけ躍動するまち盛岡」	
3つの基本目標と9つの戦略	
基本目標1	若者・女性をひきつけるしごと創造
戦略1	多様な仕事の創出
戦略2	仕事の魅力の向上
戦略3	ワーク・ライフ・バランスの推進
戦略4	地域経済を担う人材の育成・確保
基本目標2	切れ目のない結婚・出産・子育て支援
戦略5	結婚の希望に応える支援
戦略6	安心して子どもを産み育てられる環境整備
基本目標3	躍動する中核都市としての魅力・求心力の向上
戦略7	関係人口・交流人口の増加
戦略8	地元への愛着の形成、移住・定住の促進
戦略9	都市機能の強化

第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像【令和2年度から令和6年度まで】

1 基本方針

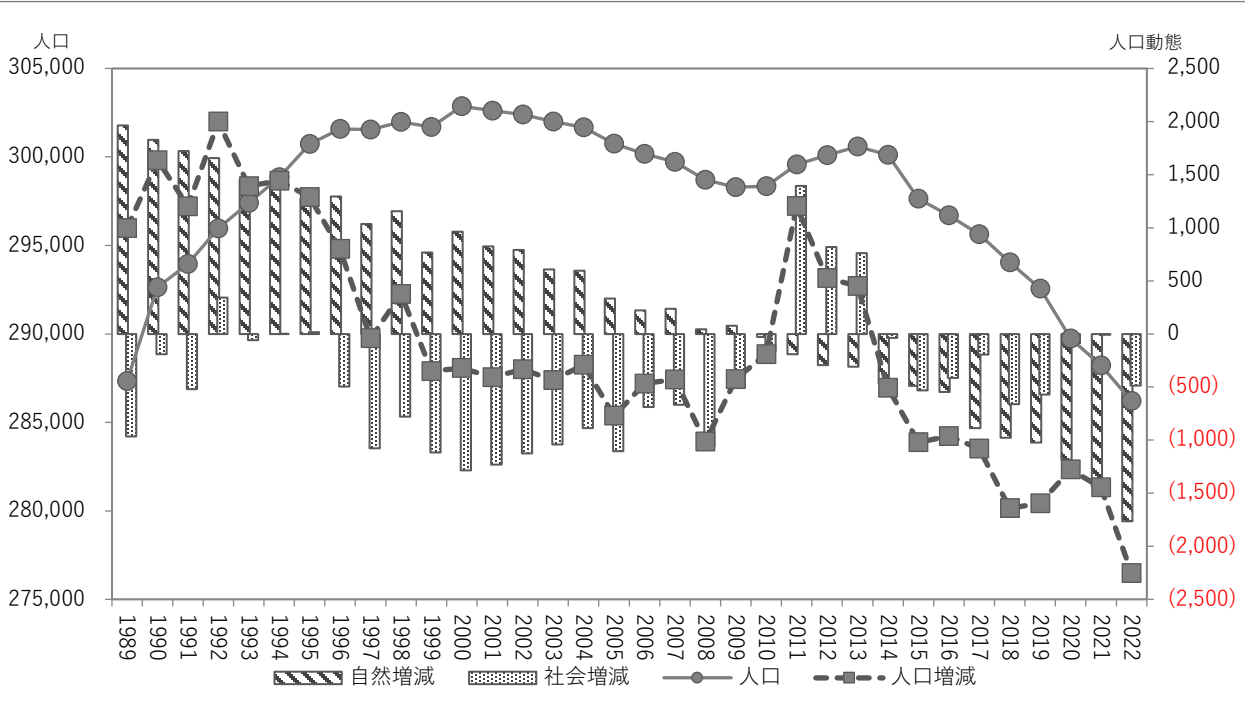
「若者をひきつけ躍動するまち盛岡」

第1期総合戦略では、長期的に人口を安定させるため、出生数の維持・増加に向けてた取組を行い、子育て負担の軽減については、待機児童数ゼロを達成するなど成果を上げたところである。

一方で、自然動態・社会動態とも減少傾向が継続していることから、第2期総合戦略では、基本方針を「若者をひきつけ躍動するまち盛岡」と定め、本市の人口ビジョンを踏まえながら、若者や女性の仕事に関する願いに応えるとともに、都市の魅力を創出することにより、若者の地元定着や東京圏等からの移住・定住を促進することで、出生数の減少と転出超過を抑制する好循環を目指す。

2 人口動態の推移

自然動態・社会動態ともに人口は減少していることから、それぞれの原因に応じた、適切な対策を講じる必要がある。



3 基本目標と基本姿勢

本市の人口動態を踏まえ、人口対策を計画的に推進するため、3つの基本目標を定めるとともに、目標の達成に向けて7つの基本姿勢で取り組むものとしている。

基本目標01 若者・女性をひきつけるしごと創造

- ✓ 戦略1 多様な仕事の創出
- ✓ 戦略2 仕事の魅力の向上
- ✓ 戦略3 ワーク・ライフ・バランスの推進
- ✓ 戦略4 地域経済を担う人材の育成・確保

基本目標02 切れ目のない結婚・出産・子育て支援

- ✓ 戦略5 結婚の希望に応える支援
- ✓ 戦略6 安心して子どもを産み育てられる環境整備

基本目標03 躍動する中核都市としての魅力・求心力の向上

- ✓ 戦略7 関係人口・交流人口の増加
- ✓ 戦略8 地元への愛着の形成、移住・定住の促進
- ✓ 戦略9 都市機能の強化

基本姿勢

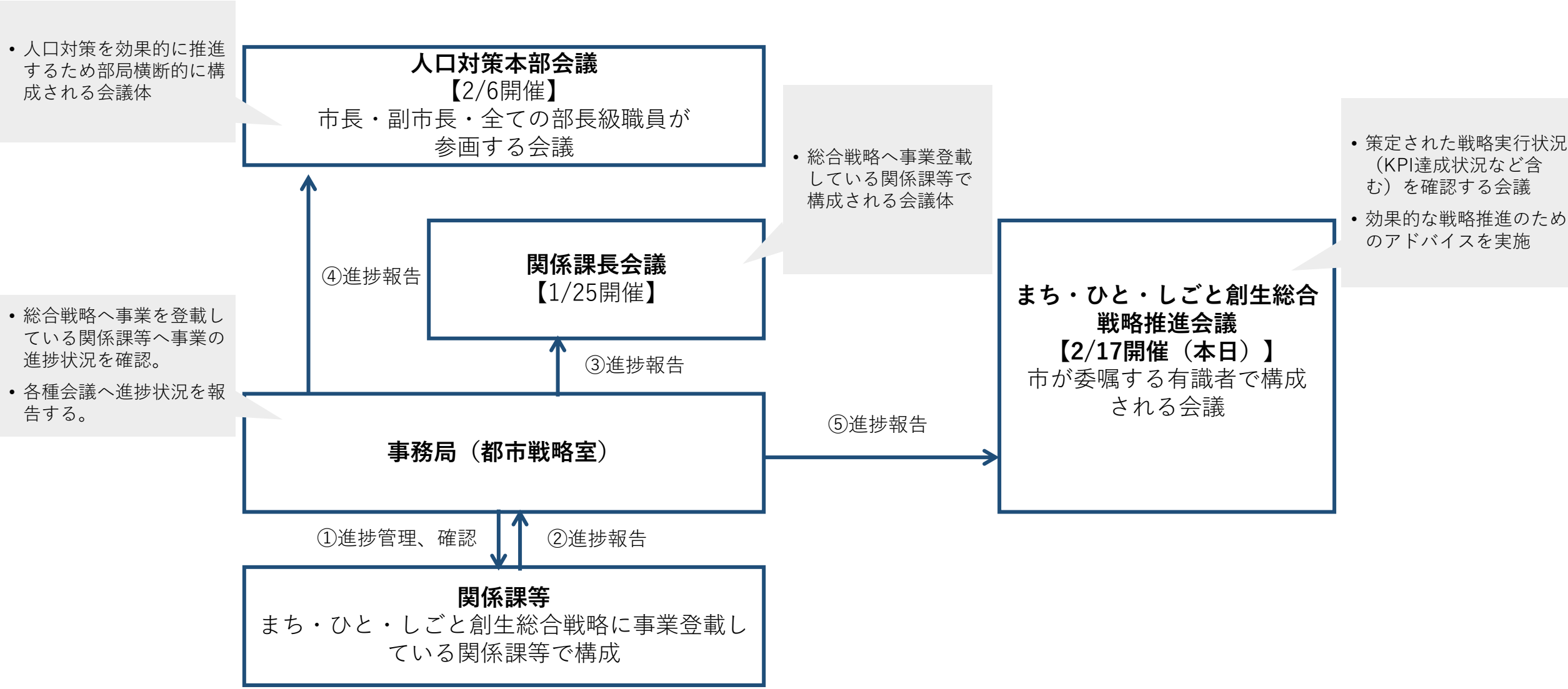
- 強みを生かした優れたプロジェクトの推進と情報発信
- 広域連携の推進による活力ある社会経済の維持
- 市民協働による、まち・ひと・しごとの創生
- デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- SDGsの取組の推進
- 「まちの新たな未来」や「新たな視点」でのまちづくり
- PDCAのマネジメントサイクルによる進行管理

4 スケジュール

- ✓ 第2回関係課長会議 令和5年1月25日
- ✓ 第2回人口対策本部会議 令和5年2月6日
- ✓ 第2回推進会議（有識者会議） 令和5年2月17日（本日）
- ✓ 人口ビジョンの更新・総合戦略の改訂 令和5年3月下旬

まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進体制について

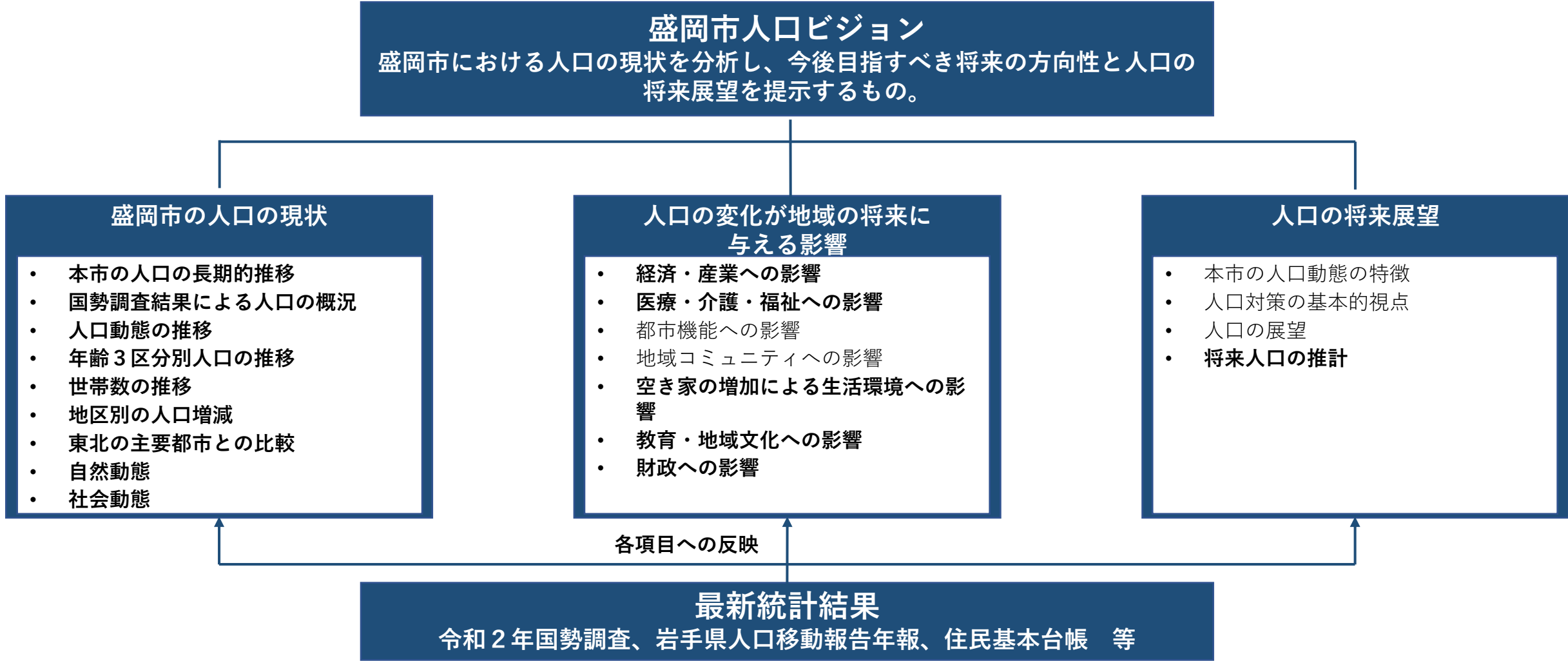
- 事務局が中心となり、関係課等へまち・ひと・しごと創生総合戦略に登載されている事業の確認・管理を実施しつつ、関係課長会議・人口対策本部会議・推進会議へ進捗状況を報告します。



2. 令和2年国勢調査結果を踏まえた盛岡市人口ビジョンの更新について

人口ビジョンの更新の趣旨について

- 人口ビジョンは、本市の人口の現状分析や将来展望をまとめた基礎資料であり、令和2年国勢調査結果を加えることによって、本市の人口の現状と将来の展望を示すため更新したものです。

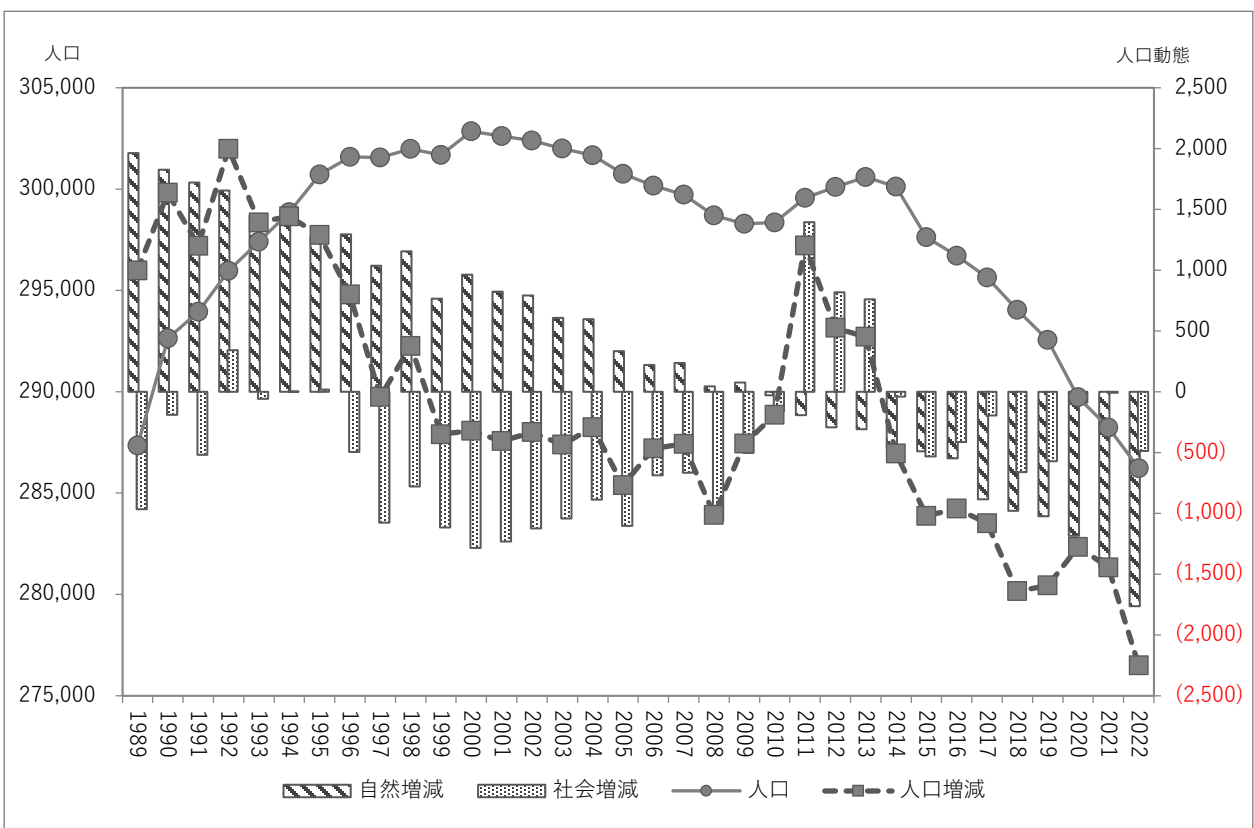


※人口ビジョンの各項目のうち、**太字**の部分に最新統計結果を反映しております。

人口ビジョン更新の主な内容について（その1）

1 本市人口の推移

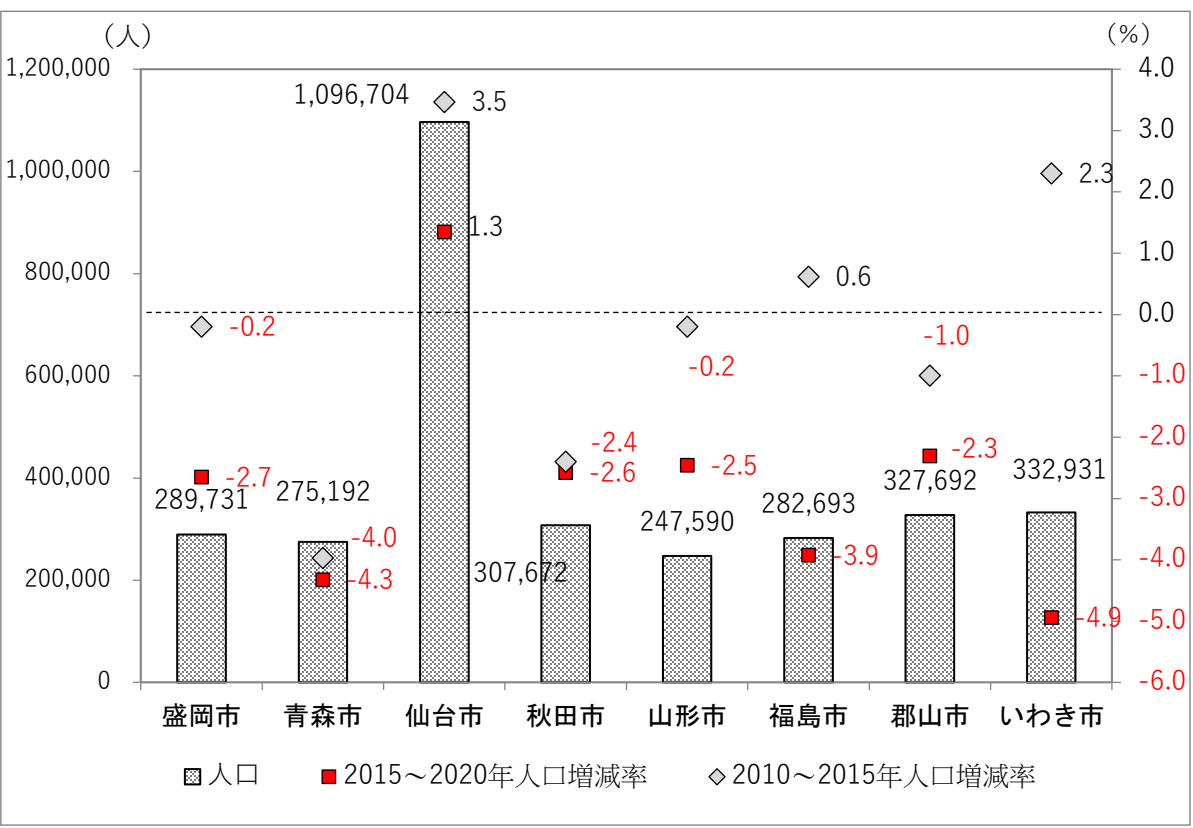
- 自然動態については、平成初期より一貫して減少しております。
- 一方、社会動態については、同期間内で転出超過と転入超過を繰り返しておりますが、平成の30年間を通算すると13,461人の転出超過となっております。



出所：岩手県人口移動報告年報より本市作成

2 東北主要都市との人口及び人口の増減率の比較

- 国勢調査により平成27年と令和2年にかけての人口の推移を比較すると、唯一仙台市のみ人口は増加しているものの、外の東北主要都市においては減少しております。

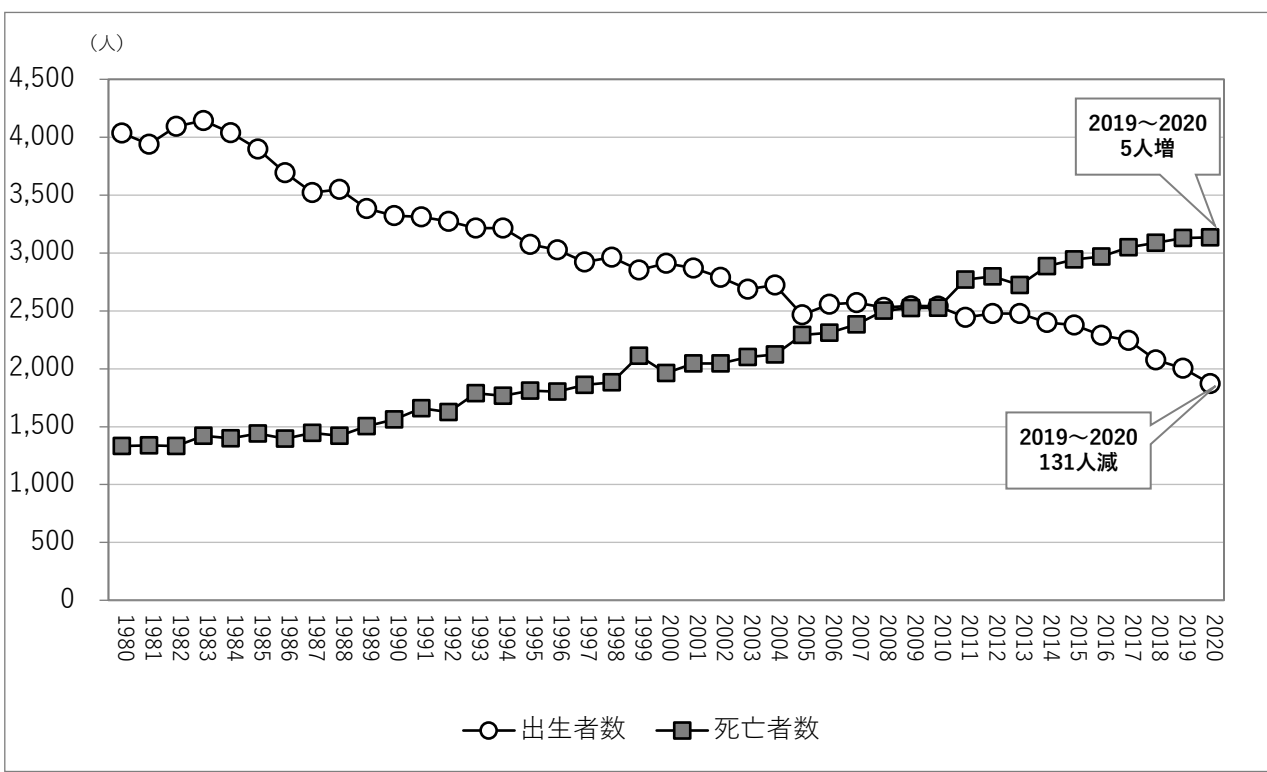


出所：国勢調査より本市作成

人口ビジョン更新の主な内容について（その2）

3 出生者数と死亡者数

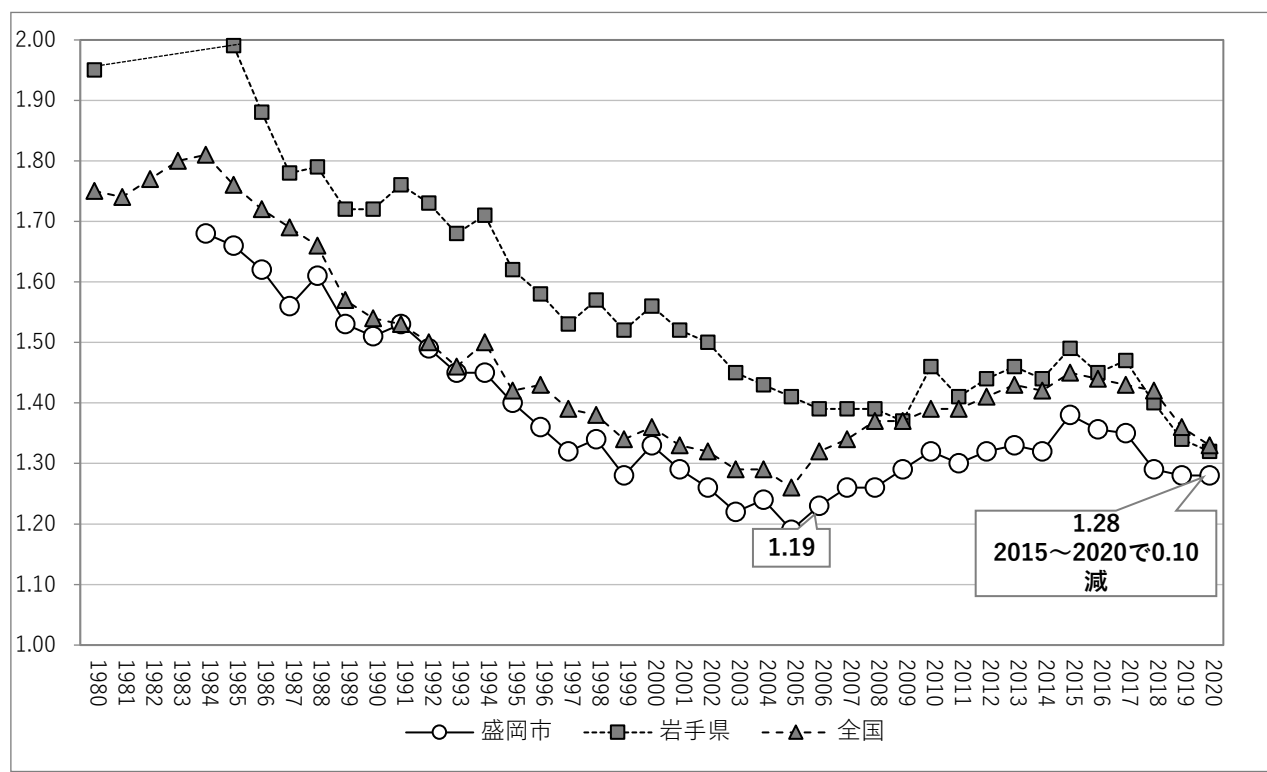
- 長期に渡って出生数の減少と死亡者数の増加が同時進行し、平成23（2011）年以降自然減は拡大し続けています。



出所：岩手県人口動態統計より本市作成

4 合計特殊出生率の推移

- 平成18年から上昇に転じ、平成29年には1.35まで上昇していましたが、令和2年には1.28まで下降し、全国（1.33）及び岩手県（1.32）の値を下回ってます。
- 今後、合計特殊出生率の対象となる15歳から49歳までの女性の人数減少が見込まれるため、出生数は減少していくものと見込まれます。

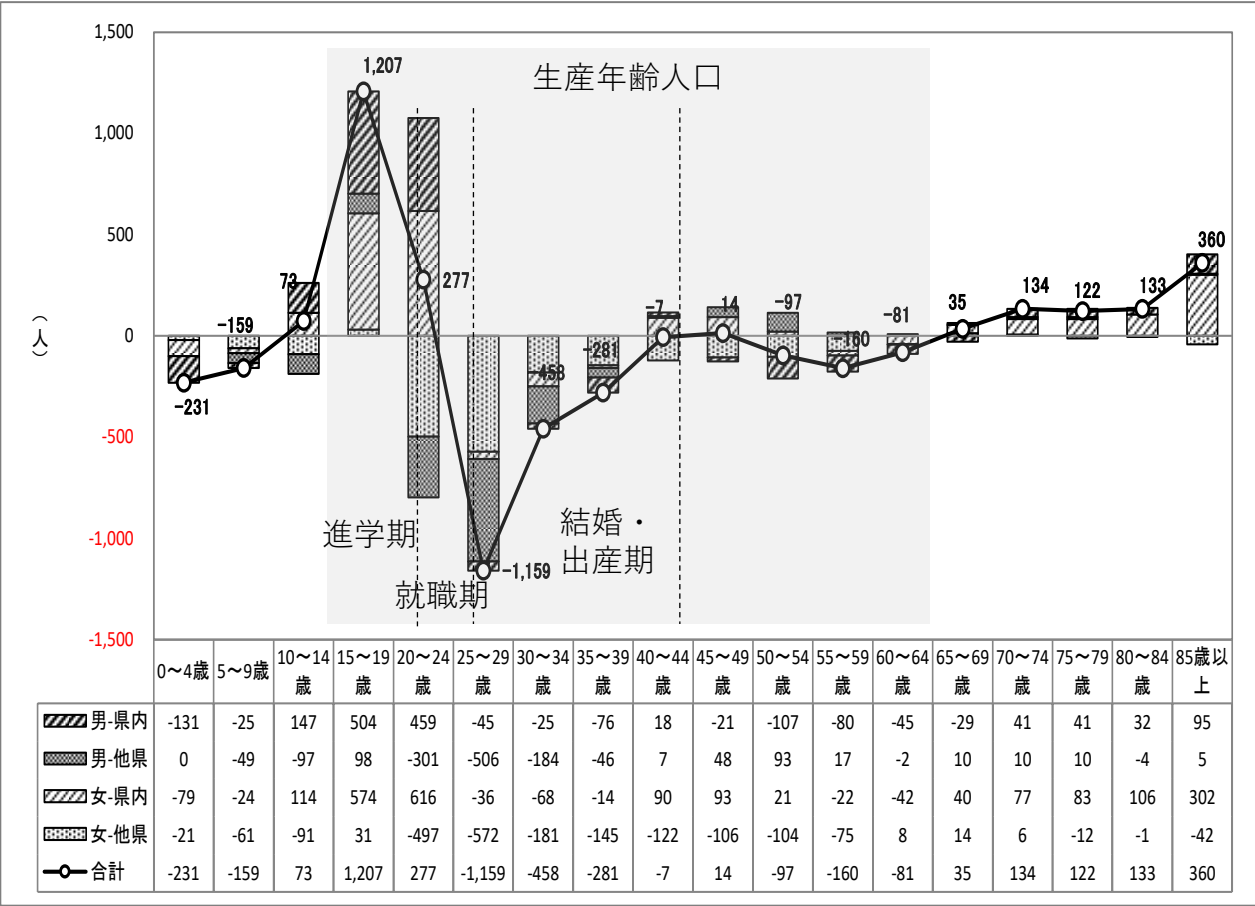


出所：岩手県人口動態統計より本市作成

人口ビジョン更新の主な内容について（その3）

5 盛岡市の年齢別地域別社会移動の状況（移動状況不詳を除く）

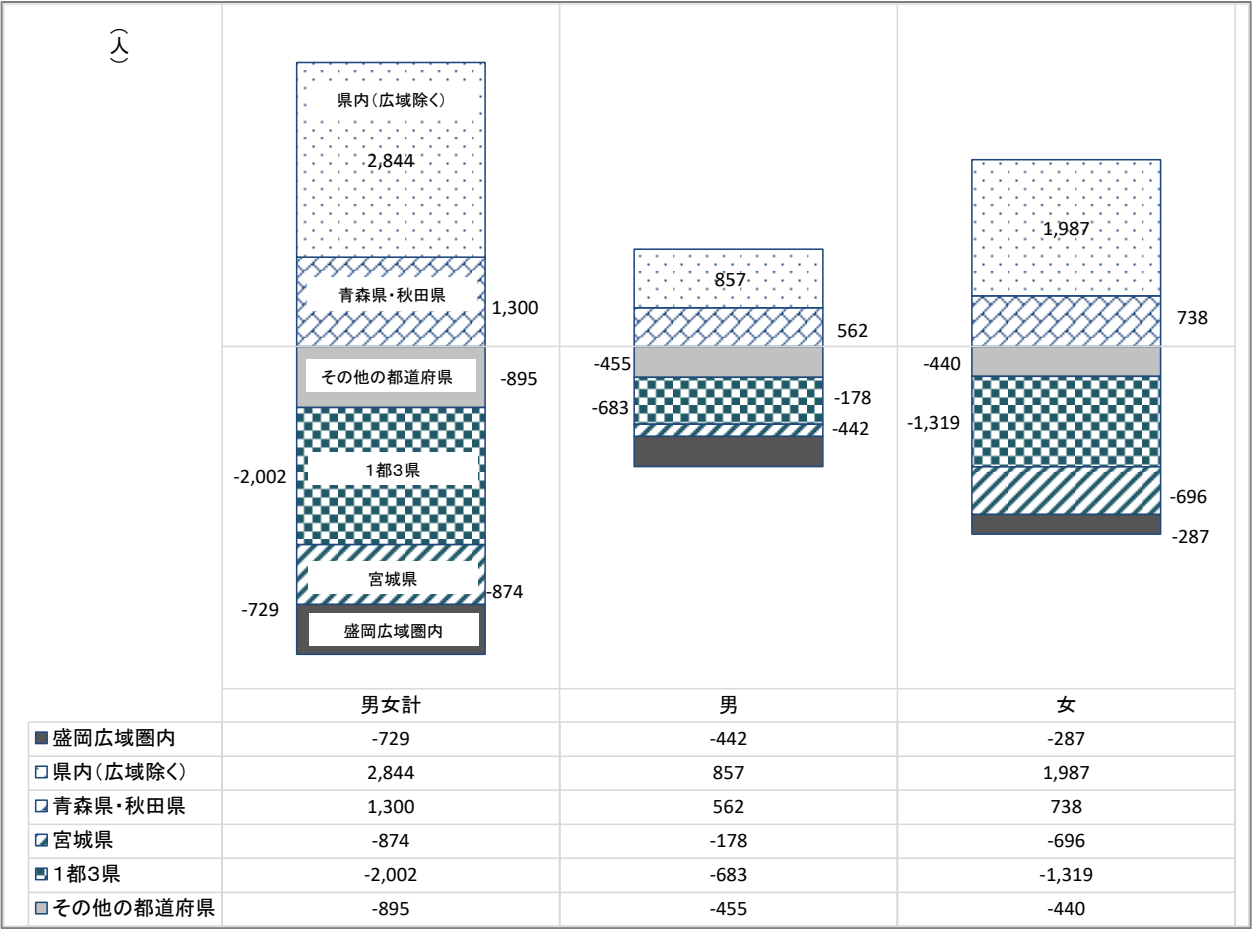
- 15歳から24歳までの高校・大学等への進学期において県内他地域を中心に転入超過があり、25歳から29歳までの就職期、結婚・出産期に、県外及び県内他地域へ転出超過しています。



出所：令和2（2020）年国勢調査より本市作成

6 盛岡市の移動地域別社会移動（移動状況不詳、国外移動を除く）

- 地域別の社会移動を詳細に見ると、男女ともに県内地域及び青森県・秋田県に対して転入が超過しているものの、一方で、宮城県・東京圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）に対して転出が超過しております。



出所：令和2（2020）年国勢調査より本市作成

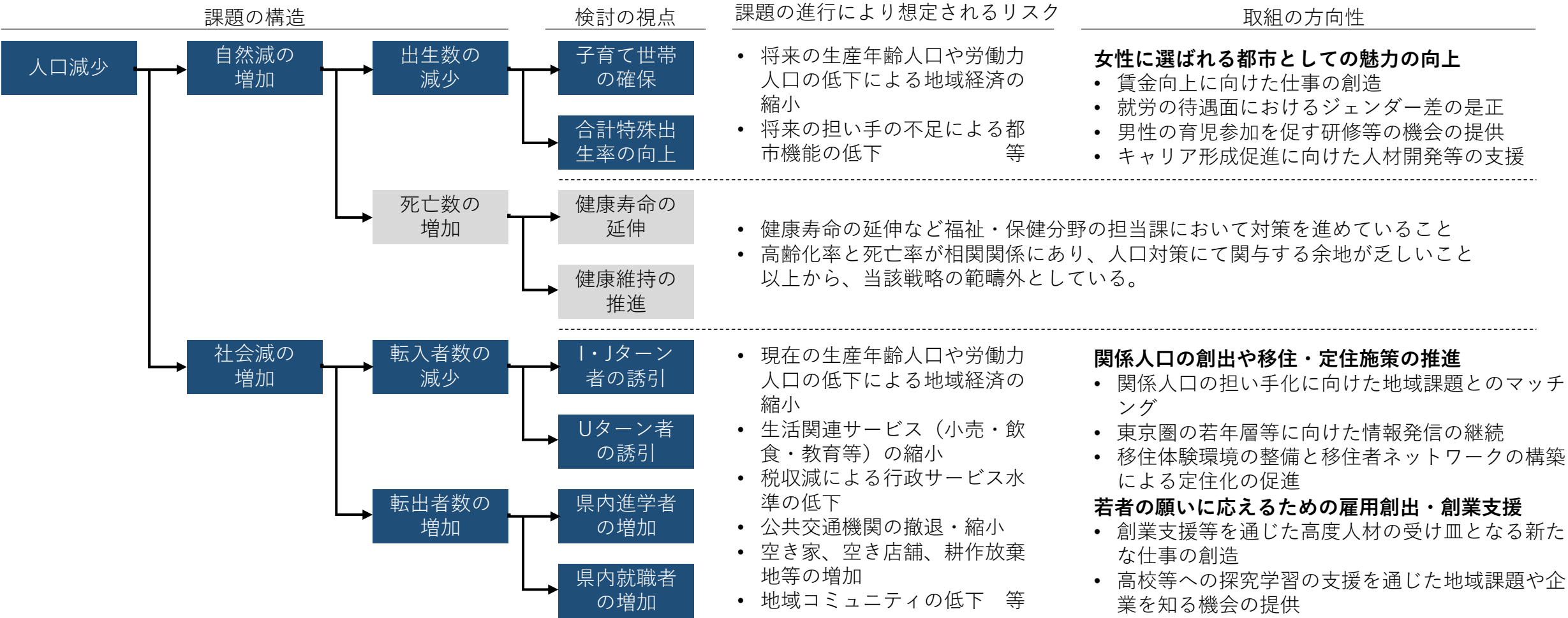
盛岡市人口ビジョンの更新に伴う主な項目の推移

	旧 盛岡市人口ビジョン (令和2年3月改訂版)		新 盛岡市人口ビジョン (令和5年3月更新版)		概要
本市人口の推移	2017年 自然動態 △886人 社会動態 △195人	→	2022年 自然動態 △1,765人 社会動態 △ 487人	▶	自然減少 約2倍に拡大 社会減少 約2.5倍に拡大
東北の主要都市との比較	2015年 東北主要都市のうち人口増加都市 仙台市、福島市、いわき市	→	2020年 東北主要都市のうち人口増加都市 仙台市のみ	▶	仙台市を除く東北主要都市において人口が減少
出生者数と死亡者数	2015年 出生者数 2,379人 死亡者数 2,945人	→	2020年 出生者数 1,873人 死亡者数 3,135人	▶	出生者数減 約1.2倍に拡大 死亡者数増 約1.1倍に拡大
合計特殊出生率	2015年 合計特殊出生率 1.38	→	2020年 合計特殊出生率 1.28	▶	合計特殊出生率 0.10の減
25～29歳女性の社会動態	2015年 県内他市町村への社会移動 △ 24人 他県への社会移動 △334人	→	2020年 県内他市町村への社会移動 △ 36人 他県への社会移動 △572人	▶	県内転出 1.5倍に拡大 他県転出 約1.7倍に拡大
女性の地域別社会移動	2015年 東京圏への社会移動 △1,047人 宮城県への社会移動 △ 348人	→	2020年 東京圏への社会移動 △1,319人 宮城県への社会移動 △ 696人	▶	東京圏転出 1.2倍に拡大 宮城県転出 2倍に拡大

出所：国勢調査、岩手県人口移動報告年報及び岩手県人口動態統計より

人口ビジョンの更新を踏まえた今後の人口対策の方向性について

- 今回の令和2年国勢調査で明らかとなった人口動態を踏まえて、今後の人口対策においては、総合戦略で基本方針と定める「若者をひきつけ躍動するまち盛岡」に向けて、次の点に重点的に取り組む必要があります。



3. 第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

3-1. まち・ひと・しごと創生総合戦略とデジタル田園都市国家構想総合戦略 との関係性について

デジタル田園都市国家構想総合戦略の全体像

総合戦略の基本的考え方

- テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、**今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。**
- **東京圏への過度な一極集中の是正や多様化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。**
- デジタル技術の活用は、その**実証の段階から実装の段階に移行**しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、**各地域の優良事例の横展開を加速化。**
- **これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。**

＜総合戦略のポイント＞

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略**を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、**各府省庁の施策の充実・具体化**を図るとともに、**KPIとロードマップ（工程表）**を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、**地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。地域ビジョン実現に向け、**国は政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、**必要な施策間の連携をこれまで以上に強化**するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、**デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示。**

施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- 1 地方に仕事をつくる
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- 2 人の流れをつくる
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- 4 魅力的な地域をつくる
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等

地方のデジタル実装を下支え

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- 1 デジタル基盤の整備
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- 2 デジタル人材の育成・確保
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等
- 3 誰一人取り残されないための取組
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等

地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進

＜モデル地域ビジョンの例＞

■ スマートシティ
スーパーシティ
スマートシティ
AICT
(福岡県糸島市)

■ 「デジタル」
中山間地域
抱い手減少に
対応した自動
草刈機の導入

■ SDGs東果都市
地域交通システムや
コミュニケーション
ロボットの活用
(宮城県石巻市)

■ 脱炭素
先行地域
バイオマス発電所
稼働による新産業
の創出
(岡山県真庭市)

＜重要施策分野の例＞

■ 地域交通の
リ・デザイン
自動車バス
の運行
(茨城県取手市)

■ 子育て支援
自治体間の
連携
(長野県伊豆市)

■ こども政策
保健師等との
オンライン相談
(山梨県富士吉田市)

■ 教育DX
オンラインによる
遠隔授業
(鹿児島県大島町)

■ 観光DX
空き家を活用した
サテライト
オフィスの整備
(福島県喜多方市)

■ 地域防災力の
向上
統合アプリを活用
した避難訓練、
人感センサー
(京都府宇治市)

地域ビジョン実現を後押し

＜施策間連携の例＞

関連施策の取りまとめ	重点支援	優良事例の横展開	伴走型支援
✓関係府省庁の施策を取りまとめ、地方にわかりやすい形で提示	✓モデルとなる地域を選定し、選定地域の評価・支援	✓他地域のモデルとなる優良事例の周知・共有、横展開	✓ワンストップ型相談体制の構築や地方支分部局の活用等による伴走型支援

＜地域間連携の例＞

デジタルを活用した取組の深化	重点支援	優良事例の横展開
✓自治体間連携の特組みにおけるデジタル活用取組を促進	✓国が事業の採択や地域の選定等を行う際に、地域間連携を行う取組を評価・支援	✓地域間連携の優良事例を収集し、メニューブック等を通じて広く周知・共有

デジタル田園都市国家構想総合戦略とは（その1）

- 令和4年6月に基本方針が閣議決定され、デジタルインフラを整備して官民双方で地方におけるデジタル・トランスフォーメーション（DX）を積極的に推進するために、①デジタルの力を活用した地方の社会課題解決、②デジタル田園都市国家構想を支えるハード・ソフトのデジタル基盤整備、③デジタル人材の育成・確保、④誰一人取り残されないための取組を4つの柱として取組みを推進するとしています

解決すべき地方の社会課題



- **少子高齢化**
 - 出生率：1.45（2015）→1.33（2020）
 - 生産年齢人口：7,667万人（2016）→7,450万人（2021）
- **過疎化・東京圏の一極集中**
 - 東京圏転入超過数：80,441人（2021）
- **地域産業の空洞化**
 - 都道府県別労働生産性格差：最大1.5倍（2018）

構想実現に向けた取組み



- **デジタル田園都市国家構想を支えるハード・ソフトのデジタル基盤整備**
 - デジタルインフラの整備
 - マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大
- **デジタル人材の確保・育成**
 - 「デジタル人材地域還流戦略パッケージ」に基づき人材の地域への還流を促進
- **誰一人取り残されないための取組**
 - デジタル推進委員の展開
 - デジタル・デバイドの是正ほか

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決



- ① **地方に仕事をつくる**
 - 中小・中堅企業DX、観光DXほか
- ② **人の流れをつくる**
 - サテライトオフィス・キャンパス設置ほか
- ③ **結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
 - 母子オンライン相談、子供の見守り支援ほか
- ④ **魅力的な地域をつくる**
 - 教育DX、遠隔医療、MaaS、文化芸術DXほか
- ⑤ **地域の特色を活かした分野横断的な支援**
 - 交付金による支援、経営人材の展開ほか

デジタル田園都市国家構想総合戦略とは（その2）

- デジタル田園都市国家構想が目指すのは、地域の豊かさをそのままに、都市と同じ又は違った利便性と魅力を備えた、魅力溢れる新たな地域づくりであり、具体的には、「暮らし」や「産業」などの領域で、デジタルの力で新たなサービスや共助のビジネスモデルを生み出しながら、デジタルの恩恵を地域の皆様に届けていくことを目指しています。



内外の人材が集まれるインクルーシブスクエア



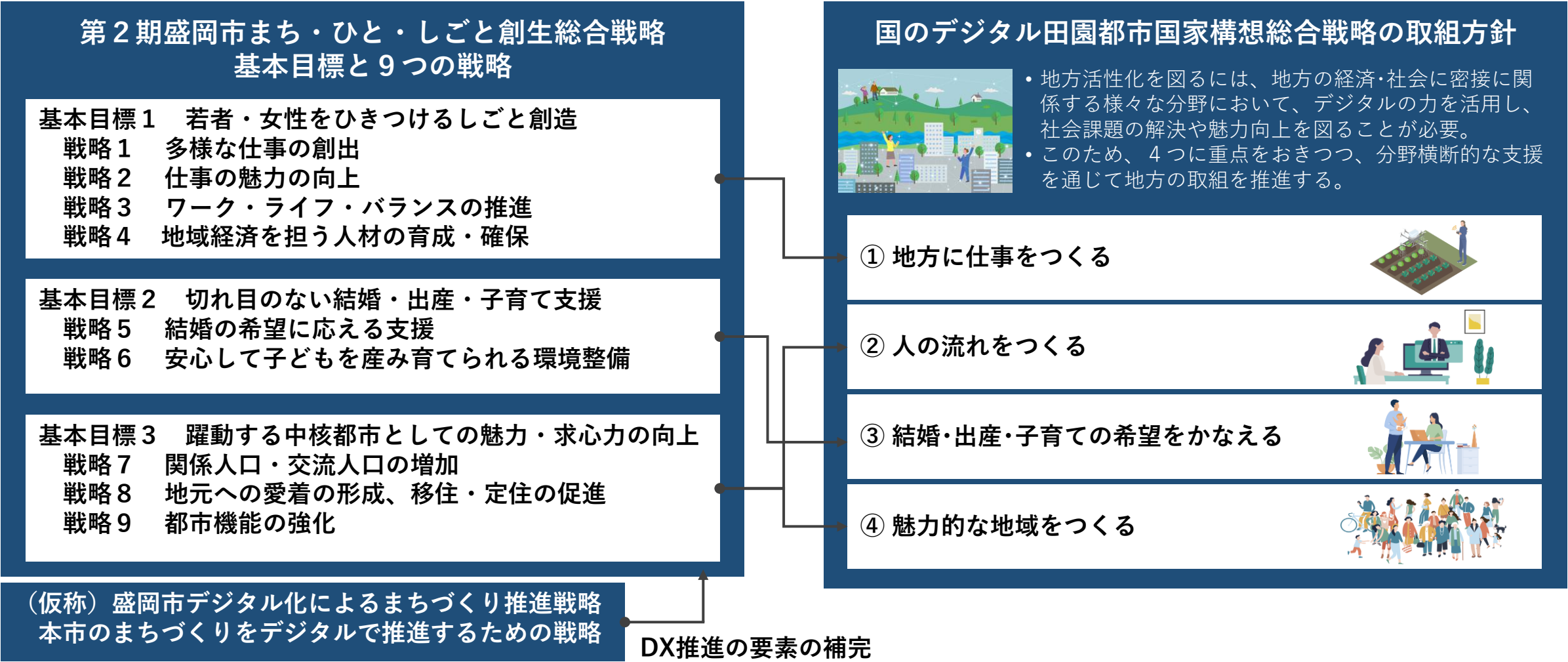
スタートアップエコシステムの確立



参照：デジタル庁（デジタル田園都市国家構想）

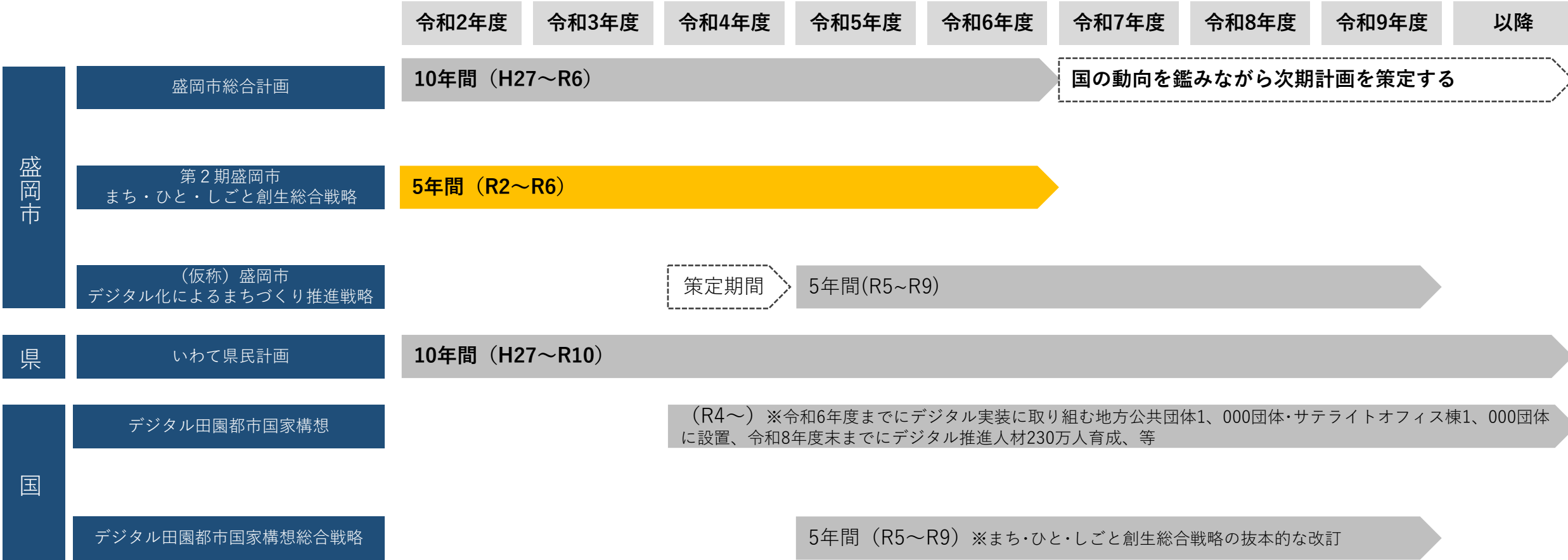
第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略とデジタル田園都市国家構想総合戦略の内容の比較

- 国においてはデジタル田園都市国家構想総合戦略において「地方に仕事をつくる」「人の流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「魅力的な地域をつくる」の4つの取組指針を掲げ取組を推進することとしておりますが、本市の現行の総合戦略及び令和4年度に策定を予定しているDX推進戦略は国の取組方針を包含しております。



まち・ひと・しごと創生総合戦略とデジタル田園都市国家構想総合戦略との関係性について

- 国においては、令和4年12月に「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を閣議決定いたしました。
- 本市の第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、国の動向に先んじて、令和3年度にDX推進の視点を取入れ改訂しており、また、令和5年度から令和9年度までを計画期間とした「（仮称）盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略」を令和4年度末までに策定する予定としておりますが、両戦略（第2期総合戦略・DX推進戦略）の方向性が合致することから、一体性をもって推進してまいります。



（参考）（仮称）盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略の全体像

- 本戦略は、目指すべき理想像を達成するため、3つの視点（市民の生活、地域の経済、まちづくり・文化）により、それぞれに戦略目標と行動指針を策定しております。

目指すべき理想像		過去と未来の“盛岡らしさ”を支えるデジタル化の推進		
3つの視点		市民の生活	地域の経済	まちづくり・文化
戦略目標		■ 市民の誰もがデジタルの恩恵を受けている	■ 地域のあらゆる産業がデジタル推進を起点に再活性化されている	■ 地域の魅力が掘り起こされ、安全・安心な住み続けたいまちが実現されている
行動指針		① やさしいデジタル化 ② 生活に根差したデジタル化 ③ 生涯にわたって便利なくらし	④ 地域資源を活かした経済発展 ⑤ 地元企業の持続・発展 ⑥ 人・技術・知見が集まる環境	⑦ 持続的かつ革新的な地域発展 ⑧ 安定したインフラ環境の提供 ⑨ 市内外の多くの人がつながるまち
現状	長所	・ 住みやすい・過ごしやすい環境 ・ 教育や医療分野等の中枢機能を有す ・ 保育所待機児童数0	・ 魅力ある農産物がある ・ 地域発展に取り組む企業・経営者が多い ・ インキュベーション施設が充実している	・ 歴史的建造物が多い ・ プロスポーツクラブが地域に根付いている ・ 治安がよく、災害が少ない安心・安全な環境
	課題	・ デジタルリテラシーによる情報格差の拡大 ・ 買い物等におけるキャッシュレス決済が普及していない ・ 地域コミュニティの維持が困難になってきている 等	・ 地元企業や事業の後継者人材が不足している ・ デジタルスキル取得等への支援体制の構築が十分でない ・ 若者や女性に対する就職支援や魅力的な雇用の創出 等	・ 海外・東京圏に対する情報発信が十分でない ・ 災害への備えと迅速な情報発信が求められている ・ 関係人口の増加、移住・定住人口増加を促進する必要がある 等

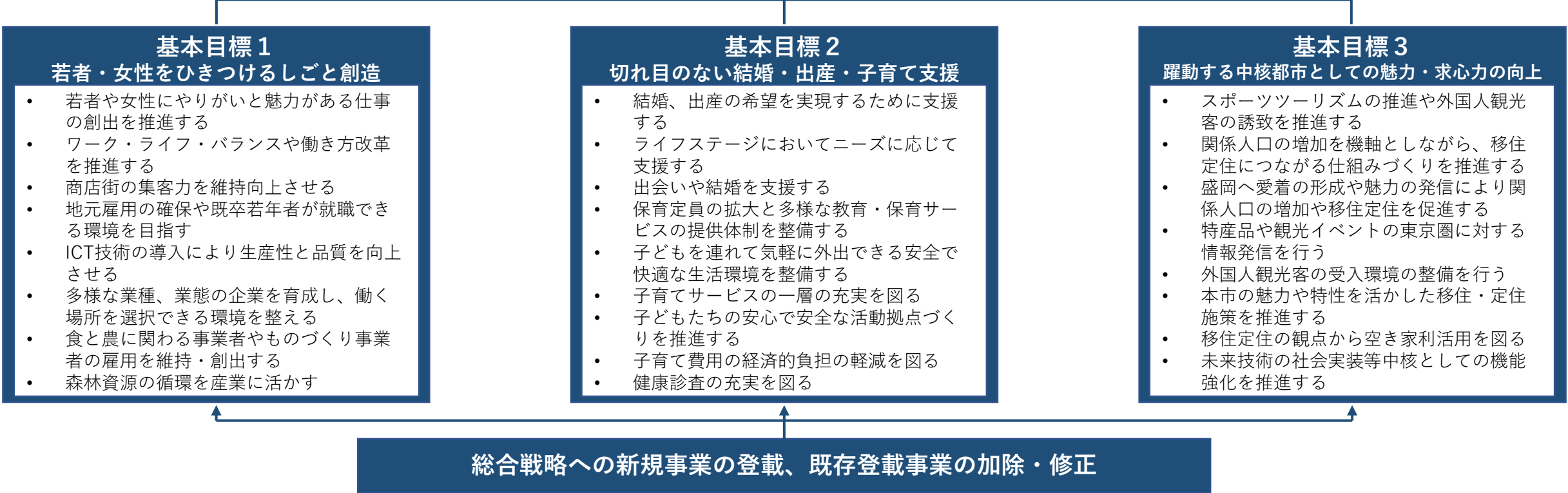
※上記内容は現段階のものであり、今後変更になる場合があります。

3-2. 第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂の趣旨について

- 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の策定を踏まえ、デジタルトランスフォーメーションの推進に関する事業を新たに掲載することや、前述のデジタル戦略の策定により、ポストコロナ時代における人口対策を一層推進しようとするものです。
- 子育て支援策においては、新たな給付金事業や医療費給付事業の拡充など、安心して出産・子育てができる環境整備を推進してまいります。
- 令和5年度より新たに環境対策の事業を掲載し、本市の豊かな自然環境維持やゼロカーボンシティの推進等のSDGsの要素を本市総合戦略へ取り入れることで、魅力的なまちづくりを推進してまいります。

第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略



まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂の主な内容について（その１）

【基本目標１】 若者・女性をひきつけるしごと創造①

基本的な考え方

- ・ 若者・女性の希望をかなえる新たな就業の場を創出することで、就職期における市外への転出抑制を目指します。
- ・ Ｕ・Ｉ・Ｊターンを希望する者が、東京圏等で身に着けた専門性を活かせる就業の場を創出することで、市外からの転入増加を目指します。

事業名	事業概要
<修正> 創業支援事業【商工労働部】 P28	起業や創業を志す方を対象に、「起業家塾@もりおか」「 起業家塾for Beginner@もりおか 」及び「盛岡地域ビジネスプランコンテスト」等を開催するとともに、本市も出資した「もりおか企業投資事業有限責任組合」及び「もりおかSDGs投資事業有限責任組合」により、創業者も含めた事業の支援を行う。
<修正> 盛岡南地区物流拠点整備事業【商工労働部】 P29	東北自動車道に加え高速化した宮古盛岡横断道路、さらには脱炭素を目指したモーダルシフトやインランドデポ機能による輸出拡大が期待される盛岡貨物ターミナル駅など、交通環境等で優位性が高い本市において、企業誘致をさらに推進し、新たな雇用創出を図るため、 盛岡南地区物流拠点整備基本計画 に基づき、物流拠点を整備する。
<修正> 未来技術社会実装推進事業【商工労働部】 P29	内閣府 のスマートシティ関連事業（未来技術社会実装事業）に採択された ことから 、モデル事業の社会実装に向けた各種取組（ 盛岡未来技術地域実装協議会事務局 運営、 未来技術社会実装支援 、 デジタル人材育成支援 等）を実施する。
<修正> 盛岡の食材プロモーション事業【農林部】 P32	市内の飲食店や宿泊業など食関連事業者と農業者のつながりを創出するとともに、「盛岡の美味しいもんアンバサダー」 認定 制度を起点とした盛岡産農畜産物の魅力発信を行うことで、地産地消の推進と地域経済の活性化を図る。
<修正> 多様な人材が活躍できる職場づくりの推進に向けた事業者への啓発と支援事業【市民部】 P36	多様な人材が活躍できる職場づくり（ダイバーシティ経営）の 推進に取り組む企業、事業所の経営者、管理職層に向けて、社員のワークライフバランス促進に関する先進事例紹介、各種認定制度（くるみん・えるぼし等）、男性の家庭参画促進に関する情報提供を通じた取組の後押しを行う。また、LGBTの理解促進に向けた取組を継続し、社会における当事者の活躍を支援する。
<修正> 働く場における女性の活躍推進事業【市民部】 P37	働く女性向けの人材育成セミナーや、ロールモデルなどの情報提供、両立不安を解消するための事例紹介や育児休暇中に参加できる講座などを実施するとともに、 女性人材の参画が少ないとされる分野（土木、農業等）に就労している方や関心を持つ方を対象として、やりがいや働き方等を伝えるイベントを開催し、キャリアアップ支援や両立支援を行う。

【基本目標1】 若者・女性をひきつけるしごと創造②

基本的な考え方

- ・ 若者・女性の希望をかなえる新たな就業の場を創出することで、就職期における市外への転出抑制を目指します。
- ・ U・I・Jターンを希望する者が、東京圏等で身に着けた専門性を活かせる就業の場を創出することで、市外からの転入増加を目指します。

事業名	事業概要
<廃止> ビジネスモデル構築支援事業【商工労働部】P33	ポストコロナに対応した市内企業の新たな取組を促すため、市内経済の好循環や企業成長に結びつくプロジェクト提案を募集し、補助金による支援を行うことで、プロジェクトの実現を目指す。本事業により中小企業の持続可能なビジネスモデルの構築及びデジタル化を推進し、市内経済の好循環を推進する。 <理由> 中小企業デジタル化促進モデル事業において、市内中小企業のデジタル化推進に向けた取組を行っており、これにより同様の成果が得られるため。
<廃止> 経営者・管理職向けの多様な人材を活かすマネジメント支援事業【市民部】P36	イクボスなど多様な人材を活かすマネジメントの実践を普及するため、経営者や管理職向けの講座や情報提供を行う。 <理由> 事業の内容や達成すべき成果指標（実績）が同様であることから、「多様な人材が活躍できる職場づくりの推進に向けた事業者への啓発と支援事業」に統合する。
<廃止> 女性活躍推進団体間におけるネットワークの形成【市民部】P37	女性活躍推進に関連した事業を展開する地域の教育機関、地域経済団体、NPO等が連携し、女性活躍推進のためのネットワークを形成し、働く女性向けのスキルアップ講座の共同開催や情報提供支援などを行い、地域全体で機運醸成を図る。 <理由> 事業の内容や達成すべき成果指標（実績）が同様であることから、「働く場における女性の活躍推進事業」に統合する。

【基本目標2】 切れ目のない結婚・出産・子育て支援

基本的な考え方

- 結婚・出産等のライフステージに応じた切れ目のない支援を行うことで、子育て世帯の確保を推進してまいります。
- 安心して妊娠・出産・子育てができる環境整備を推進することで、出生数の増加や合計特殊出生率の向上を目指してまいります。

事業名	事業概要
＜新規＞ 出産・子育て応援交付金当事業【子ども未来部】P45	妊娠期から子育てまで、一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援と、妊娠・出産家庭に「出産・子育て応援給付金」を支給する経済的支援の2つの支援を併せて実施し、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整える。
＜修正＞ 医療費給付事業（妊産婦、乳幼児、小学生、中学生、高校生等）【市民部】P43	妊産婦や乳幼児等に対して、安心して医療が受けられるように、医療費を助成する。また、令和元年8月から医療費の無償化を乳幼児までとし、令和2年8月から現物給付化を中学生までとした。さらに、令和5年度から医療費給付事業の対象を高校生等まで拡大する。
＜修正＞ 産婦健康診査事業【子ども未来部】P43	産後2週間、産後1か月などの出産後間もない時期の産婦健康診査を実施し、産婦の母体の回復を診るだけでなく、授乳状況及びうつ傾向等精神状態を把握することにより、早期に産後ケア等の支援に繋げ、産後うつ及び新生児虐待の予防を図る。
＜修正＞ 産後ケア事業【子ども未来部】P43	心身の不調や育児不安が強い産婦に対して、助産師が医療機関（デイサービス型）や自宅（訪問型）において、保健指導、授乳指導、心理的ケアや育児に関する指導や支援を行う。また、デイサービス型の委託医療機関を増やすことや、宿泊型の実施に向けて関係機関等と検討を進める。
＜修正＞ 不妊に悩む方への特定治療の支援【子ども未来部】P44	医療保険が適用されない特定不妊治療（体外受精、顕微授精）及び男性不妊治療を受けた夫婦を対象に治療費の一部を助成する。（令和4年度からの不妊治療の保険適用に際し、年度をまたぐ1回の治療のみを助成し終了とする。） また、令和4年4月1日に岩手・盛岡不妊専門相談センターを設置し、利用促進に向けて周知を図るとともに、併せて開設時間の延長や日数の拡充等を検討することで、悩みを持つ方が安心して相談できる体制の整備を行う。

【基本目標３】 躍動する中核都市としての魅力・求心力の向上①

基本的な考え方

- 本市の都市としての魅力の向上と発信を行うことで、地元への愛郷心の醸成による転出抑制や東京圏等からの人口の誘引を促進します。
- SDG s の推進等の取組や都市全体のデジタル化を推進することで、都市機能の充実と都市としての求心力を高め、選ばれる都市を目指します。

事業名	事業概要
<新規> AIを活用した人流分析システム整備 【商工労働部】 P56	ポストコロナ時代における商店街の集客力向上や賑わい創出、民間事業者の積極的な事業展開の促進による中心市街地の活性化に向けて、盛岡まちづくり株式会社が実施している通行量調査について、有用性の高いデータとするため、A Iを活用した動画解析による人流分析を行うためのシステムを整備するとともに、当該データを活用したロールモデル事業の展開等により、商店街や民間事業者における業務改善や集客ツールとしての利用定着を図る。
<新規> 気候変動対策実行計画推進事業【環境部】 P56	盛岡市気候変動対策実行計画に基づいた温室効果ガス削減のための取組及び今後予測される様々な気候変動による事象への適応策を実施するとともに、先人から引き継いだ豊かな自然環境等を生かした魅力あるまちづくりの推進を図る。
<修正> 定住化対策空き家利用促進事業【都市整備部】 P53	空き家等バンク登録物件を購入し、その空き家に５年以上居住する方を対象に、購入費又は改修費の一部を補助し空き家の利活用の促進を図る。
<修正> スポーツ・ツーリズムの推進【交流推進部】 P55	新たに整備した「いわて盛岡ボールパーク」をはじめ、総合アリーナ、総合プール、アイスリンク、南公園球技場、太田テニスコートなどのスポーツ施設を活用し、スポーツ大会や国内合宿の誘致に取り組むとともに、交流人口の増加を図る。

【基本目標3】 躍動する中核都市としての魅力・求心力の向上②

基本的な考え方

- 本市の都市としての魅力の向上と発信を行うことで、地元への愛郷心の醸成による転出抑制や東京圏等からの人口の誘引を促進します。
- SDG s の推進等の取組や都市全体のデジタル化を推進することで、都市機能の充実と都市としての求心力を高め、選ばれる都市を目指します。

事業名	事業概要
<廃止> お試しテレワーク推進事業 【商工労働部・市長公室】 P53	盛岡に関係性を持つ県外在住者やテレワーク移住を希望する者を対象に、市内のコワーキングスペースを活用したお試しテレワークを行ってもらい、都市部の仕事を本市に住みながら行えることを実際に体験してもらうことで、将来的な二地域居住や移住につなげる。また、市内の企業や人材と交流する機会を設け、新たな人的ネットワークの形成やビジネス創出の場づくりを推進することにより、移住者にとって働きやすい環境を整備する。 <理由> テレワークの活用はすでに浸透してきており、また、東京圏からの移住者に対し支援金を支給する移住支援金事業において、テレワークによる移住も支給要件となっていることから、現在行われている施策で同様の成果が得られるため。
<廃止> 盛岡バスセンター整備事業【都市整備部】 P56	旧バスセンター跡地に、新しいバスセンターを公民連携事業により整備し、バスターミナル機能並びに中心市街地活性化及び河南地区のにぎわい創出を図る。 <理由> 令和4年度にて新しいバスセンターが整備されたことから事業を終了する。なお、令和6年度まで公民連携まちづくり勉強会を継続する。